タイピックだより 9月号

2016.8.20 発行　Vol.45

九月になり、夜は幾分涼しくなってきて、虫の声も聞こえてきます。昔は、春に花見をしていたように、秋にも虫の声を聞く「虫聞き」がありました。夜に野山に行き、松虫や鈴虫などの声を楽しんでいたそうです。江戸時代には、花見、月見、菊見、雪見と並び、庶民五つの風流として親しまれていました。

秋の夜は、スズムシ、コオロギ、マツムシ、クツワムシなど夏の思い出を詠うように秋の虫たちが情緒ある調べを奏でます。忙しい毎日の中で、秋の虫の音にゆっくり聴き入る至福の一時を過ごすのもいいのではないでしょうか。

また、秋は台風の季節ですね。気象庁のデータによりますと、中国地方に台風が接近することが多い月は九月のようです。昔は台風のことを「野分(のわき)」といい、野分が去って晴れた空を「野分晴れ(のわきばれ)」と呼んでいたそうです。強風や大雨もその時を越えれば、光があふれて晴れ渡る「野分晴れ」ですが、できることなら台風は来てほしくありません。今年は、台風の被害がでないことを祈るばかりです。

お水の宅配始めました

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。

ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。

ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。

なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに

無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ
株式会社 タイピック
〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856)23-2800㈹ Fax. (0856)22-5592番
http://www.typic.jp

社長のつぶやき

昨年秋頃に、船井総合研究所に依頼し従業員満足度調査を実施した。この従業員満足度の主な項目として「経営理念と目標」「コミュニケーションと風土」「評価・人材育成」「労務と福利厚生」があり、この一項目に八個の質問があり、「将来性（夢）のある会社であると思うか」「実績を上げた人が報われる金銭的報酬体系があるか」「社内には自分が尊敬したり影響を受ける優れた人材がたくさんいるか」などの質問事項があった。これを従業員がそれぞれ直接船井総研にメールで送信し、船井総研に集計してもらったのである。

この結果、ＯＡ研究会の平均点より若干低く、特に経営参画については非常に低い点数であった。逆に驚いたのは６割の従業員が給料について100パーセント満足していたのである。

この結果を踏まえ満足を向上させるために「会社が実施するもの」と「社員の考え方」を変えるものとに分け、社員教育などに取り組んでいた。

そんな時に島根県中小企業団体中央会より「いい会社づくりセミナー」のご案内をいただき松江会場で受講することにした。当日会場に入り資料のなかに「一〇〇の指標・診断申込書」が入っていたので記入したが、当日提出する勇気がなくとりあえず持ち帰った。そして「日本でいちばん大切な会社がわかる一〇〇の指標」（朝日新書）を購入し一読した。

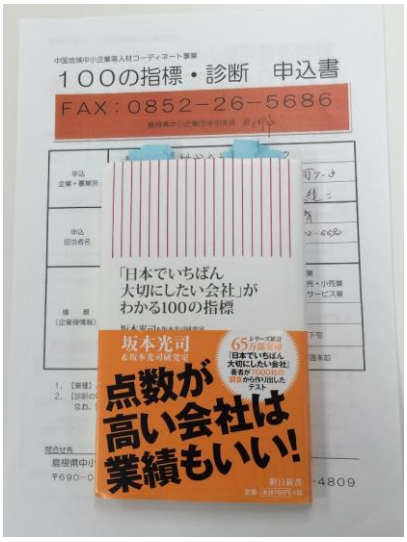
七月に中小企業団体中央会から診断を受けてみないかとの打診があり、会社を変えるチャンスをいただいたのだと思い診断を受けることにした。そして「いい会社の一〇〇の指標」をチェックして当日を迎えた。

当日は法政大学大学院　坂本光司研究室の方が来社されご指導をうけた。

一〇〇の指標は70点以上でないといい会社とはいえないとの説明を受けたが、弊社の合計点数62点でまだまだ努力が足りないと実感した。しかし、研究室の方が言われたのは「島根県内の企業はほとんど40パーセント台で62点とは良い方だ」と聞き驚いた。

これから出来ていない項目を一つずつ改善し、二年以内に80点以上の会社にし、良い会社を作って社会に貢献し、社員を幸せにするという信念を持って取り組んでいきたい。

八月に行われたリオオリンピックでの日本人選手の活躍には素晴らしさを感じている。この四年間想像を絶するような練習を積み重ねられたのだろうと思いながら新聞を読んで、自分はこの四年間彼らと同じような努力を積み重ねたのかと反省している。今日から東京オリンピックまでの様々な目標設定をして頑張りたい。



わが社のほっとニュース

タイピックの新鮮野菜市場

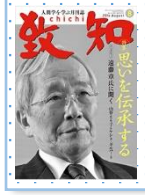
タイピックの玄関を入って左がゆっくりやさしいパソコン教室です。その教室の前には、教室の生徒さんが丹精込めて作られた野菜を格安価格で販売しています。

今年は特に夏野菜をたくさん提供していただき、生徒さんだけでなく、弊社の社員も利用させていただきました。美味しくて新鮮な野菜で、食卓が賑わいました。これからは、さつまいもや栗などの秋野菜が楽しみです。

野菜の売上金は、毎年、益田市社会福祉協議会に寄付をさせていただいております。

社内木鶏会

致知の感想



特集　思いを伝承する

坂根　彩夏

文中にある「君さを浪費するな」「今日一日は永久に戻らぬ一日である」この言葉がとてもひびいてきました。

まだ若いから先は長いという考えで明日自分がどうなっているのかという事をあまり考えずにいる為、一日一日を何もしないでただただ過ぎるのを待つだけだなと思いました。明日の事、それこそ今の時間よりあとの事というのはなにがおこるのかが誰にも分からない事ですので一分一秒まだ若いから大丈夫とかじゃなしにこれからの将来を見据えて大切にしていきたいと思います。

松陰先生と橋本左内さんが言われた言葉の内三つ程同じ事がありますが、多少違いはあっても、今も昔も活躍している人達の根本的な考えかたっていうのはほとんど同じではないかと思います。簡単に出来そうでもなかなか出来る事じゃないと思いますが、しっかり見習って自分自身をみがいていきたいと思います。

特集　思いを伝承する

吉松　一彦

「今日一日は永久に戻らぬ一日である」この言葉が最も印象に残りました。毎日を無駄に過ごしているつもりはありませんが、高い志を常に持って過ごしているかと言われると、そうだと言い切れる自信はありません。何かと理由をつけてダラダラとしてしまったり、後まわしにしてしまったりということが今までを振り返ると結構あったのではないかと思います。一日一日の積み重ねがこれからの自分を作り上げていくのだと思うので、一日でも一時間でも無駄にせず、どんなことでも自分の成長のためだと思って取り組んでいきたいと思いました。文中にあった「君さを浪費するな」という言葉は正にその通りで、若い内に経験して身に付けたことがこれからの長い人生を過ごしていく中で自分自身を導いてくれるものになると思います。勉強を怠らず、日々成長していくことで先人の教えを次の時代に伝えていくことになると思うので、一日一日を大事にしていきたいと思いました。

途上国のビジネスに懸ける思い

豊田貴紀

安全な水を提供する日本ポリグル会長小田兼利さんと病気をなくすマラリア・ノーモア・ジャパン専務理事水野達男さんの対談を読んでいく中で目にとまったのが水野さんのおっしゃられていた「お前が本当にやるべきなのは、こんなふうに子どもを亡くして悲しむ人を少しでも減らすことではないか」という言葉に対して、今自分に必要なものはこういうことではないのかなと思いました。一体何のために仕事をしているのかというのを良く考えたいと思いました。今までは仕事を通じて自身の能力向上だけを考えていましたが、この記事を読んで、仕事を通じて得た力を人のため、社会のために使う事が大切だと感じました。こういう想いをもって日々仕事をしていくことで自分の自信、能力向上そして人のため、会社、社会のためにもなっていくと思います。今はまだ教わり、色々な事を吸収する時だと思うのですが、いずれは得た力を伝えていく立場になると思うので、今しっかり教わり基礎を固めて何のために、そして、自分に出来る事というのを良く考え伝承していく事が大事だと思いました。

誕生日の決意

経理部

大庭　幸絵

今年も無事に誕生日を迎えられることをとても嬉しく思います。

私は、九月十五日生まれで、昔は、敬老の日として覚えやすかったのですが、祝日が第三月曜日に移ってしまい、周りだけでなく、私自身も、誕生日が来ることを忘れてしまいそうになります(笑)。

そんな危うい私の記憶力を神様が心配したからなのか、私の誕生日のちょうど一ヶ月前の八月十五日に弟の子供が生まれました。これで、ひと月前に盛大に甥っ子のお祝いをして、自分の誕生日も思い出せるようになったので、今以上に記憶があやしくなっても安心です。今年は皆で一歳のお祝いをしました。私も良い伯母さんになりたいと思います。気が早いですが、男の子は、虫捕りとか好きになるのかなと思います。私は虫が苦手ですが、出来る伯母さんでありたいと思うので、仕事もしっかりして、苦手なことは、克服していきたいです。

印刷事業部

和﨑　里栄子

また一つ歳をとるのか～。

年々あっという間に一年が過ぎるように思います。お盆には同窓会があちこちで開かれ懐かしい話に花が咲き、我が身を忘れタイムスリップしてきました。

思えば下の子が幼稚園に通い始めて就職し、今はその子も高校生。

経理事務を経て製版室に移ってもう10年近くなるでしょうか…改めて自分の歳を感じています。

まさか印刷の仕事をするなんて…実家の母も印刷業でしたので、これも何かの縁かなと。

何も分からないまま製版の仕事を始め、先輩方の指導を受けながらどうにか製品に仕上げた時、とても嬉しかった事を思い出しました。

初心忘れるべからず、これからも新しいものにしっかりアンテナを張り、作ることの楽しさを感じながら取り組んでいきたいと思います。

ゆっくりやさしいパソコン教室

救急救命法講習会を開催

今年も、7月25日(月)に益田広域消防署の方による救急救命法の講習会を開催しました。

講習の内容は、おもに、人が倒れていて呼吸がない場合の救急救命法の実践です。生徒さんに聞いてみると、実際に父親が倒れて自分で救急救命法を実施してお父さんが助かったそうです。参加された方も、「もしも”のことがあるかもしれないからね」と参加された方も多かったです。

消防署の講師の方から救急救命の目的と実践の説明を受けた後、専用の人形を使ってまず心臓を押し続ける心肺蘇生法、そして、人工呼吸、AEDの使い方を実践しました。倒れている人を発見し、最後のAEDを使うところまでの一連の動作を何度も繰り返し練習しましたが、実際にやってみると、手順を忘れてしまったりしてスムーズにいかなかったりしました。こうやって体験することによって、いざという時に少しでも落ち着いて対応できるのではないでしょうか。

教室では幸いに救急の対応をしなければならない事態は起きていませんが、生徒さんの健康状態を気にしながら、みなさんが安心して教室での時間を過ごしていただけるようこれからもスタッフ一同心配りをしていきたいと思います。

益田市社会福祉協議会へ寄付をお届けいたしました

ゆっくりやさしいパソコン教室では、生徒さんが栽培された野菜、深山せんべい、楓ジェラートなどの収益金を毎年、益田市社会福祉協議会に寄付をする活動を続けています。

今年も7月29日(金)に益田市社会福祉協議会に収益金を届けてまいりました。持参した折には斎藤会長自ら対応していただきました。

教室の中で日頃の小さな善意が積み重なっていく重みを毎回感じさせていただいております。みなさんありがとうございます。

5教室合同写真コンテスト

毎年恒例の5教室合同写真コンテストが始まりました。応募締切は10月末ですが、続々と素敵な作品が集まってきています。

毎年応募数が年々増えていますが、どの作品も素晴らしいものばかりです。今年は、どんな作品が出品されるのか、今からとても楽しみです。

生徒さんの力作は各教室に展示され、教室の生徒さんや弊社の社員が投票し各賞が決まります。

結果発表は、このタイピック新聞と弊社ホームページで行いますので、楽しみに待っていてください。

パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。